□議員名：杉本　保喜

1　山陽小野田市の防災体制の現状について

論点	広島市北部の土砂災害から、当市の体制等を顧みて問題点は何か。 また、宇部市のように避難勧告マニュアルを公開すべきである。
回答	避難勧告、避難指示等の発令時期を再認識した。また、市民に対して緊急避難のあり方等の啓発、周知に努めたい。 県による特別警戒区域の指定が出れば、土砂災害ハザードマップを追加修正して、住民に周知する。 避難勧告マニュアルの公開しない理由がある訳ではないので公開を検討する。

論点	防災について地域住民の地域に対する認識は、十分だと考えるか。
回答	住民の意識啓発のため、自治会便班回覧でチラシを配布し、市広報でも注意喚起をした。出前講座でその地域の備えや対処の説明をしており、避難勧告等の対応を含めて周知啓発に努めていく。

論点	当市のホームページでの避難所案内について、改善が必要だと考えるがどうか。周南市等を参考に分かり易いものにすべきと考える。
回答	災害基本法の改正及び津波の浸水想定によって、避難所について見直しが必要になった。地域防災計画の改正と関連の見直し部分を含め十分整理した上で、公表したい。

論点	防災ラジオの現状をどのように考えているか。
回答	自治会、自主防災組織、災害時要援護者関連施設、市民及び事業所に有償で配布しており、自治会長や民生委員に無償配布することは、考えていない。 Ｊ－ALERT との連携は、検討中である。

論点	ホームページでの「防災士育成事業のお知らせ」が、2013 年 11 月 18 日更新のままだが、これをどのように考えているのか。 自主防災アドバイザーとの会合を持つ等相互の連携を図ることが

	必要ではないか。
回答	一堂に会することは賛同できるが、検討してみる。

論点	県防災訓練が中止になったが，当市は、これに代えるものを考えているのか。
回答	10 月 31 日（金）に風水害を想定した図上シミュレーション訓練を予定している。 昨年の図上訓練を踏まえ実施する。

論点	職員の防災訓練実施状況を知らされたい。
回答	消防法に基づく訓練は１～２回実施している。各保育園等は、自然災害を想定した訓練をしている。 防災訓練は、できるところはしっかりやるという気持ちでやっていく。

2　観光推進組織の整備について

論点	観光振興ビジョン検討会が実施されている現在、成長戦略室を中心に活動が始まっているのか。 具体的体制が出来ていないのではないか。
回答	全庁体制を挙げて取り組んでいきたい。 意見を参考に全体的な見直しをする。

3　公共施設における指定管理者制度について

論点	行政改革大綱アクションプランにおいて､平成 25 年度以降の取組み内容に適切なモニタリングを実施すると明記されているが、その状況はどうか。 アンケート調査についてはどうか。 行政と指定管理者との業務処理を明確に表すフローチャートはあるか。 市民モニターの制度も必要だと考えるがどうか。
回答	モニタリングは、適時行われている職員の巡回調査や毎年度終了後に指定管理者から提出される事業報告に基づいて行われている。 この制度を導入している施設が目的に沿って適切に管理運営され

	ているかを確認するため、適切なモニタリングを行うよう努める。 アンケートは強制ではないが、指定管理者が独自に作ったもので、良い評価ばかりで有効でなかったこともあった。 業務処理のフローチャートはない。 意見を参考に研究していきたい。